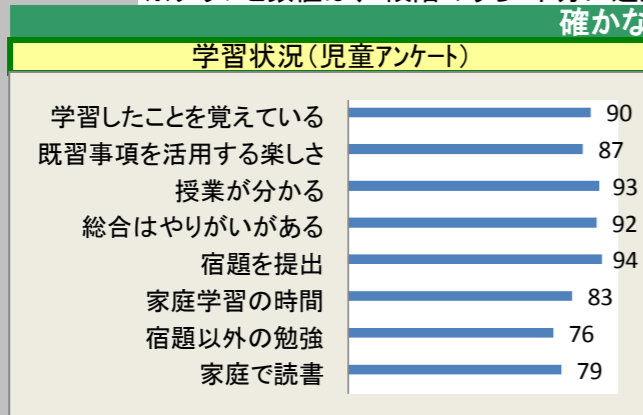


**成果** 分かる授業・活用型の授業実践・宿題提出  
楽しい、いじめのない学校・共に活動する楽しさ

# 第1回学校評価・成果・課題・改善策

**課題** 思考力・判断力・表現力、活用する楽しさ、言葉遣い  
道徳教育

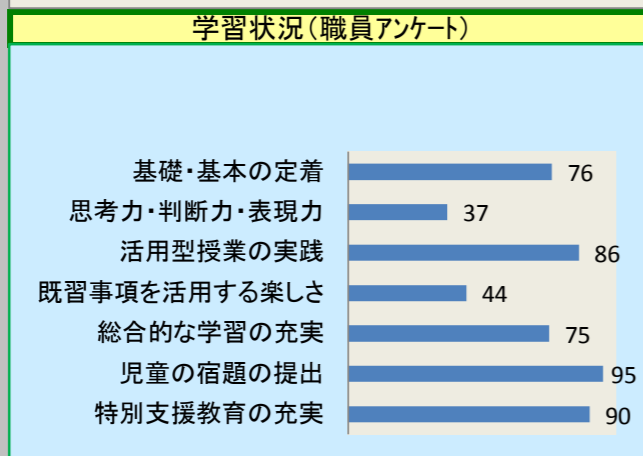
※グラフと数値は、4段階のうち「十分に達成できた」「達成できた」と答えた%を示しています。80%に達することが一つの目安です



**成果**

- ほとんどの児童は授業が分かる
- 宿題の提出状況はますます良好
- 職員は、活用型の授業づくりに努力
- 特別支援教育の充実

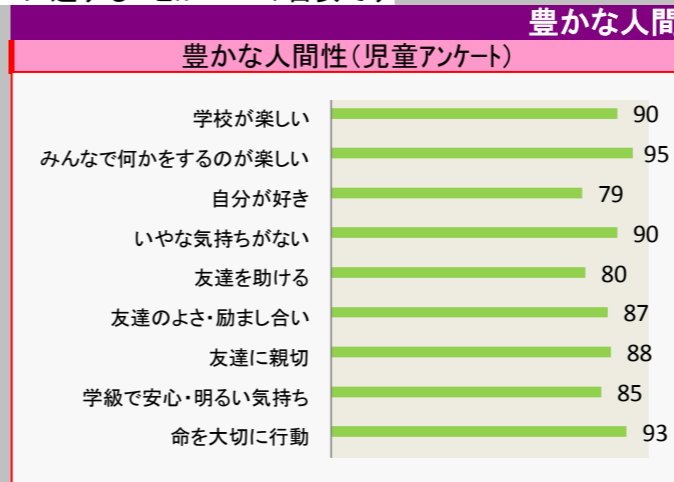
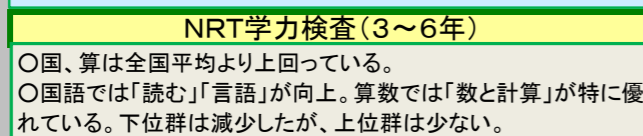
などの成果が見られました。また、グラフには掲載しませんが、「自ら進んで学習に取り組む」が70→79に増加しました。



**課題・改善策**

●思考力・判断力・表現力の育成  
児童は「既習事項を活用する楽しさ」を味わい、諸能力も育まれてきています。職員の満足度が低いのは、研修が深まるにつれ、より高いものを目指したいという意欲の高まりと、指導の工夫がさらに必要であるという思いの表れです。今後、さらに高めていくために、次のような取り組みをしていきます。

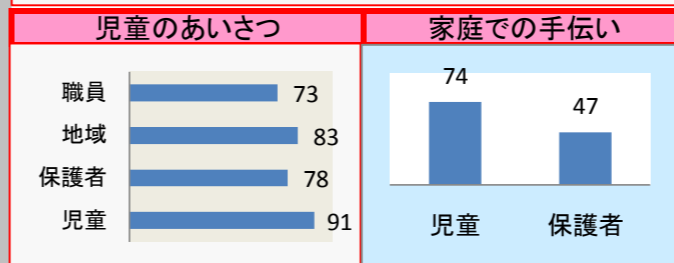
○「思考力・判断力・表現力」を発達段階に応じて具体化し、「活用型の授業」を通して育成する  
・低…自分の考えを持ち、表現(言葉で説明、絵、操作)する  
・中…既習事項の共通点・相違点に着目して見通しを持ち、友達と意見を伝え合い、解決する  
・高…課題解決のための見通しをもちながら、情報の取捨選択をし、友達との交流を通して、よりよい方法で解決する  
○言語活動を充実する  
・言葉にして考えることによって、確かになったり高まったりする。  
・「記録、説明、論述、討論」などの言語活動を位置づける



**成果**

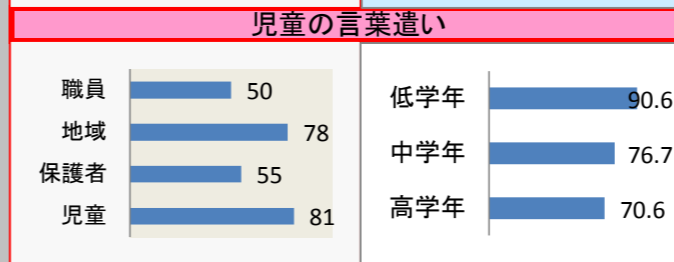
- 学校が楽しい
- みんなで何かをするのが楽しい
- いじめのない学校づくりの推進
- 間違っただ行動への教師の適切な指導

などが大きな成果です。さらに、  
○自尊心の向上69→73→79が見られました。  
○「生徒指導体制の確立」や「命の大切さ」なども継続して成果が出ています。

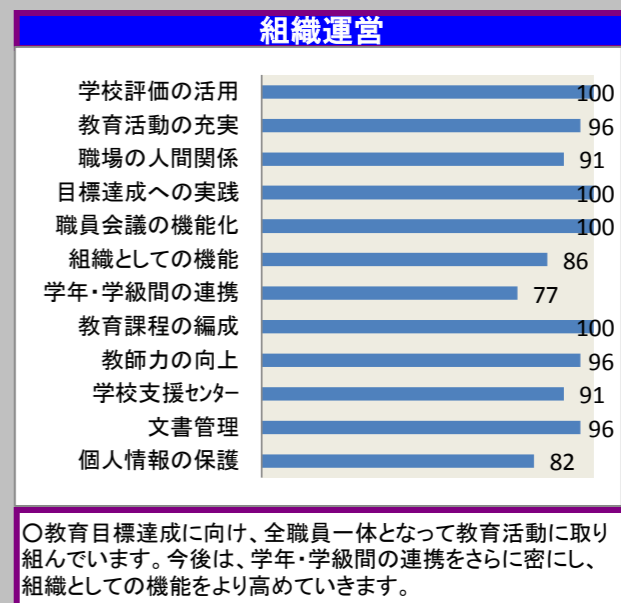
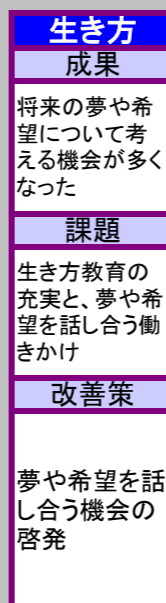
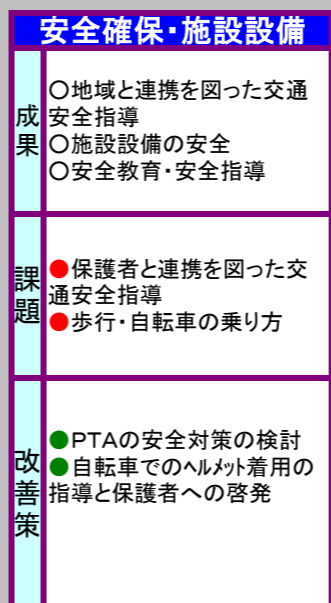
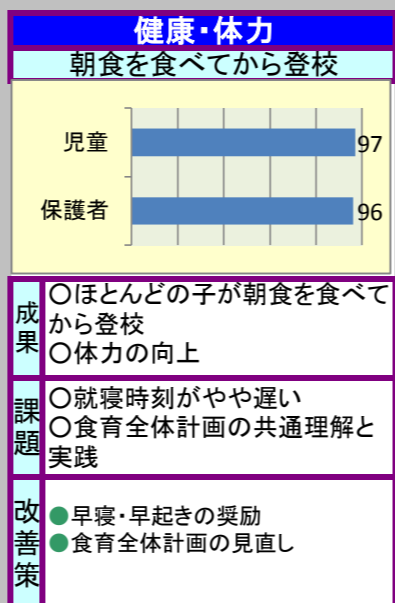
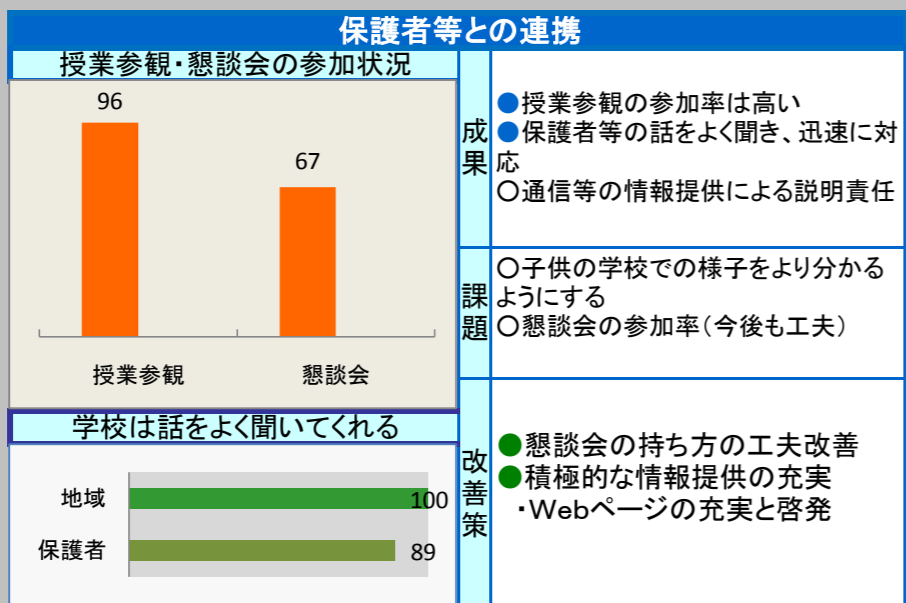


**課題・改善策**

●「言葉遣い」の指導の充実  
時と場に応じた言葉遣いのできる児童が増えてきていますが、友達同士の言葉遣いで不適切な状況も見られます。また、上の学年ほど満足度が低い傾向が見られます。今後は、次のような取り組みをしていきます。  
○日常指導の徹底 ○言語活動の充実



●「あいさつ・返事」の指導をさらに充実  
昨年度末から「あいさつ」の指導に重点的に取り組み、地域の方などから「あいさつができるようになった」などの声を多数頂戴しています。職員の満足度も高くなりました。一方、「返事」がよくできない子どもも少なくない状況が見られます。今後も次の点に力を入れ、継続して指導していきます。  
○「あいさつ運動」の継続  
○あいさつのすばらしさや、あいさつの「4つの視点」(①大きな声で②目を見て③笑顔で④進んで)を重点的に指導する  
○「返事」は日常指導で徹底する



※改善策は、12月までに取り組む短期的な方策を記載しました。